



夏井小学校だより No. 28

なつい



QRコード

令和2年12月2日

<スローガン>

○ なかよく
○ つよく
○ いっしょう
けんめい



教育目標：「豊かな関わりを自ら築き、共に学び育つ児童の育成」

TEL 34-3226 FAX 34-4219

発行責任者：いわき市立夏井小学校長 角田 健司

英語サポーター活用 (11月27日)

5, 6年生で、4回目となる英語サポーターを活用しての英語の授業を行いました。英語の教科書、ICT(電子教科書)、サポーターを活用し、中学校に繋がる英語力を身につけられるよう授業を進めています。子どもたちも英語に親しんでいるようです。



土曜学習 ～地球環境変動を学ぶ南極・北極教室～ (11月28日)

今回の土曜学習は、国立極地研究所名誉教授の渡邊研太郎氏を講師としてお招きし、「地球環境変動を学ぶ南極・北極教室」を行いました。実際に南極越冬隊として南極昭和基地で働いていた経験等を基に興味深いお話を聞くことができました。地球温暖化で南極の氷がすべて溶けてしまうと夏井地区が海の底になってしまうということを聞いて子どもたちはびっくりしていました。最後に南極の石を見せてもらい興味深く見ていました。



4年生 手話講座 ～手で話そう～ (11月30日)

市役所出前講座を活用し、障がい福祉課の石井先生を講師に迎え4年生で手話講座を行いました。子どもたちは、石井先生の話をしっかり聞いて積極的に発表したり、質問したりしていて、石井先生も大変褒めていました。はじめ、耳の聞こえない人(ろうあ者)がどんなことに困っているのか、どうやってコミュニケーションを取ればいいのかを考え、コミュニケーションを取るにあたっては、「相手に伝えたい、相手の気持ちを分かりたい」という気持ちや思いやりが一番大切であることを教えていただきました。世の中には、耳の聞こえない人や目の見えない人、いろいろな困り感をもった人がいます。先日行った人権教育とも関連しますが、そのような人たちも健常者とともに幸せに生きていく権利があります。今回の学習を通して、子どもたちは、誰もが平等で困っている人がいればやさしく手を差し伸べられるような、そんなやさしい心が育ったのではないかと感じました。



全校集会 (12月1日)

<表彰> おめでとうございます!

○小学生税の書道展銅賞 鈴木遼さん 細谷月乃さん

○「ソフトボールスポ少大会」準優勝・三位 代表 木田聖哉さん

<校長による情報モラル講話>

個別懇談で保護者の方々の心配な点として多かった「ネットゲームの問題」について取り上げ、次のような内容で情報モラル講話を行いました。

～ネットやネットゲームにおける7つの危険～

- ① 脳の正常な成長が止まってしまうこと：特に小学生の脳は、成長が盛んな時期です。そのような時期にゲームばかりに脳を使ってしまうと脳が萎縮(ゲーム脳)して小さくなってしまいます。
- ② 言語環境の悪化：ゲームなどの仮想空間では「死ね」「殺す」など、友達との関係を築くのにふさわしくない言葉が飛び交います。現実空間で使うことで、周りの雰囲気や壊したりいじめに繋がったりします。
- ③ 睡眠不足：途中でやめることができずについつい遅い時間までやってしまい寝不足になってしまいます。睡眠不足により、家庭学習や学校での学習にも悪い影響が出ます。
- ④ 目の異常：ゲーム機やスマホを近づけて両目で見るので、目を動かす筋肉が固まってしまう寄り眼になったり、両目の視線が合わなくなったりします。
- ⑤ 友人とのトラブル：ゲームやネットで、友達のことについて、軽はずみに書き込みをしてしまい、それがもとでケンカになるケースがあります。
- ⑥ 課金の問題：いろいろなアイテムを手に入れるために知らず知らずのうちに金を使ってしまい何十万という請求が来たという事例があります。
- ⑦ 知らない人との繋がり：ゲーム内やネット上で知り合った友達は、顔が見えないのでどんな人か分かりません。優しいふりをしているけど、実は怖い人かもしれません。ネットで「今度会おうよ!」と言葉巧みに誘われ、誘拐されたり命を奪われてしまったりする事件もありました。

ネットやゲームには様々な危険があります。

夏井小の子たちの大切な命と身体が危険に合わないよう、ご家庭でもお子様の様子で心配なことなどがあれば、いつでも学校にご相談下さい。

